

令和4年度 第2回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和4年12月23日（金）午後3時00分から午後5時00分まで
大洲市役所2階大ホール

2 出席した構成員

大洲市長	二宮隆久
大洲市教育委員会 教育長	東山宏
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	山内光郎
大洲市教育委員会 委員	渡邊ひとみ
大洲市教育委員会 委員	吉岡恵一
大洲市教育委員会 委員	久米山雅美

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

教育部長	城戸弘一
教育総務課長	加納紀彦
教育総務課学校教育指導監	西山慎介
生涯学習課長補佐	石家清
文化スポーツ課長	脇坂剛
学校給食センター所長	富永重則
教育総務課長補佐	松田圭司

（市長部局）

市民福祉部長	上野康広
子育て支援課長	仲岡貴志

（事務局）

総合政策部長	久保明敬
企画情報課長	井上朋昭
企画情報課長補佐	信尾肇典

4 傍聴者の数

2名

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 令和5年度主要施策・事業について
- (2) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 議事
二宮市長	(1) 令和5年度主要施策・事業について 括弧1の「令和5年度主要施策・事業について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。 [会議資料に基づき説明] 加納課長、西山教育指導監、石家課長補佐、脇坂課長、富永所長、仲岡課長 それでは、質疑、意見交換に移りたいと思います。 教育総務課から、説明がありました、「(1) 学力及び体力の向上」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	教職員の働き方改革を進めて上で、新システムの導入によって、研修等が頻繁に行われていくと思いますが、研修が働き方改革を阻害していないか、教えてください。
加納課長	確かに教職員の研修機会は増加していますので、その部分は悩み所になりますが、そこを経て、働き方改革に繋げていきたいと考えています。 どうしても、システム導入の期間については、ご容赦いただきたいと考えています。
西山指導監	実際に研修が必要なのは50代の先生と捉えています。40代、それ以下の教職員については、研修が無くても理解できると感じています。現場でも、50代の職員が、若い職員に聞くという状況ですので、徐々に覚えていくものと考えます。
山内委員	紹介いただいた「ロイロノート」が実用化されていくと、それだけ先生方の負担が減っていくと考えてよいのでしょうか。
加納課長	現在、無償での利用期間ですが、教職員の間ではかなり浸透しています。これまでであれば、プリントを配布して児童・生徒が回答を記入するのを、先生は見て回るというやり方になりますが、「ロイロノート」を使うことになれば、プリントを配布しなくて済みますし、現場の教職員からも要望が多いものですので、是非予算を認めてもらい、活用してきたいと考えています。
西山指導監	お試し期間に授業で使ってきましたが、その中で様々なアイデアがあり

	ました。理科の昆虫採集であれば、タブレットを持って昆虫の写真を撮り、報告し合うことができます。また、道徳などの意見交換では、タブレットに書き込んだ各自の意見をグループで共有し、昔であれば黒板に板書していたものが、ソフトを使うことで、先生の操作一つで画面に映し、意見交換ができます。これにより、無駄な時間も無くなりました。家庭では、音楽のリコーダーの練習を録音し、学校で公開するなど、先生のアイデアで、いろいろな使い方ができます。また、子供たちは先生を超えた機能、使い方を見つけ、先生方が子供たちから学ぶということも見られました。使い方によっては、非常に便利なものです。
二宮市長	非常に便利なのは分かったのですが、無料期間が終われば、どの程度の費用が必要となるのでしょうか。
加納課長	令和5年度の予算で要求しているのが、児童・生徒一人当たり、約1千円のライセンス料が必要となりますので、小中学校全体で約300万円となります。教職員については、ライセンス料はかかりません。
吉岡委員	児童・生徒はカバンに一杯の荷物を詰め込んで通学しています。タブレットやソフトを活用することで、通学時の負担も軽減されるのでしょうか。 また、子供たちにとっては、タブレットにより、時間や場所に制限されず利用することができると思いますが、一方で、先生方も時間も場所も選ばず使うことが出来るとなれば、働き方改革の点から見ると、先生方はどのように感じているのでしょうか。
加納課長	タブレットの持ち帰りに関しては、教科書とタブレットを持ち帰るとかなりの重さになることから、なるべく負担の掛からないように、あまり使わない教科書などは、家に持ち帰らなくても良いという指導を行っています。また、タブレットは持ち帰って宿題などにも活用していますので、先生方は、翌日子供たちが学校へ持ってきた際に、職員室や自教室、更には先生が持ち帰って確認することもできます。家でもできるということが、働き方改革に繋がるのかと言えば、疑問が残るところです。
西山指導監	便利なものが出てくると、教職員の準備や採点などは、非常に楽になり、それにより自由な時間が生まれます。ただ、そこで大事なのは教職員の意識改革ではないかと思います。どうしても、教員は真面目な人が多いので、できた時間は子供のために、「こういうふうな教材を作ってみよう。」「こういうことやってみよう。」と考えます。その部分では、家に持ち帰ってまでは仕事をしないということを、指導していかなければならないと考えています。
吉岡委員	タブレットは起動時間が把握できるということですので、そのようなこ

	とも活用しながら、働き方改革を進めていただきたいと思います。 先ほどの「ロイロノート」などのソフトを活用していけば、教科書の持ち帰りが少なくなると思っていたのですが、その点はどうでしょうか。
加納課長	今はまだ紙の教科書が残っていますので、紙の教科書とタブレットの両方を持って帰らなければなりません、徐々に変わってくると思います。
西山指導監	教科書は、今はまだ、紙と電子の併用となっていますが、しばらくすると、電子だけになってくるとは思います。今までは問題集を別に購入していますが、「ロイロノート」の中にはドリル機能がありますので、紙の問題集は減ってくると思います。
二宮市長	次に、「(2) 特別支援教育の充実」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。 <意見無し>
二宮市長	次に、「(3) 学校施設・設備の充実」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	市内産の木材を活用した机・椅子の整備事業について、非常に良い取り組みと感じていますので、是非予算化できるよう進めていただきたいと思います。 その中で、既存の机・椅子がかなりの量になると思いますが、廃棄されるのか、再利用や利活用ができるのか、今の時点で分かっているか教えてください。
加納課長	まだ、具体的などころまでは検討できていませんが、スチールの部分と木材の部分がありますので、分別する必要があります。分別できれば、スチールの部分については再利用も可能と考えています。木材の部分については、なかなか難しいと思いますが、可能な限り再利用ができるよう検討してまいります。
二宮市長	資源を無駄にしないよう、検討をお願いします。
渡邊委員	机の規格は、旧と新でどのくらい変わるのでしょうか。
加納課長	新の規格で、縦横とも5センチメートル広がります。旧のJ I S規格では60センチメートル×40センチメートル、新のJ I S規格では、65センチメートル×45センチメートルになります。
二宮市長	旧の規格はB5サイズのままということでしょうか。

加納課長	旧J I S規格はBサイズで、新J I S規格はAサイズになります。これまでも、天板だけ替えた事例はあります。また、肱川中学校のように新しく整備した学校については、新J I S規格の机としています。
二宮市長	次に、生涯学習課から、説明がありました、「(1) 社会教育施設・設備の充実」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。 ＜意見無し＞ 次に、「(2) 青少年健全育成の推進」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
二宮市長	喜多児童クラブ3という記載がありましたが、これは、喜多児童クラブ1と2が既にあるって、3つ目の児童クラブを増やすという意味でしょうか。
石家課長補佐	その通りです。令和3年度に喜多児童クラブ2を開設しており、令和5年度で3つ目の開設を目指すということです。
二宮市長	受入定員を45名増やすことで、概ね希望にお応えすることができるのでしょうか。高学年の希望者も概ね入ることができるということでしょうか。
石家課長補佐	現在、3年生までの受け入れとなっている状況ですが、高学年についても受け入れが可能になると考えています。
二宮市長	喜多小学校以外は、概ね希望者には入っていただいていると考えて良いでしょうか。
石家課長補佐	平児童クラブ、大洲児童クラブの定員を増やすことができましたので、喜多小学校以外では、待機児童は無い状況です。
二宮市長	それでは次に進めます。文化スポーツ課から、説明がありました、「(1) 博物館事業の推進」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	博物館の検討事業については、市民の方でも、博物館がどこにあるのか知らない方もいますので、是非、検討をお願いします。
二宮市長	まずは、博物館がどうあるべきかという現状把握をいただくこととあわせて、歴史的風致維持向上計画に記載している内容などについても、確認をお願いします。

二宮市長	次に、「(2) 地域スポーツの推進」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
久米山委員	部活動の段階的な地域移行を来年度からスタートするということですが、指導者などの確保は大丈夫でしょうか。仕事をしながらの両立は大変なことだと感じております。このことも含めた事業の推進体制はどのようなのか、ということ、また、学校、子供、保護者、地域のスポーツ団体など、関係者に向けての周知はどのようにしていくのか、この2点について教えてください。
脇坂課長	指導者、いわゆる受け皿づくり問題は、とても大事な事であり、悩ましいところです。昨日もスポーツ少年団の理事会で、この事業の概要を説明しました。一昨日は、スポーツ協会理事会に参加させていただきました。その他に、おおずスポーツクラブとも協議を重ねているところです。 ここで、今年の7月に、小学校、中学校の先生にアンケートを取っていますのでご紹介します。 現在、運動部で59名、文化部で20名、あわせて79名の先生が、部活動に携わっています。 地域に移行すれば、地域でこの79名の指導者を確保しなければならなくなりますが、一方で「先生が休日の部活動に関わるか」の問いに対しては、「関わるという先生が14名」ということでした。もちろん、先生に頼るという事は本意ではありませんが、正直、79名の指導者を揃えるという点では、残る65名の指導者が足りないことを危惧しています。 それから、11月に中学校の1年生、2年生に取ったアンケートを紹介します。 まず、部活動に入っている生徒のうち、運動部が72%、文化部が16%であります。部活動を選んだ理由は、「やりたいものだから」というのが一番多い理由ですが、「他にやりたい部活動が無いから」という回答も見逃せません。 次に、「地域部活動があれば入りたいか」の問いについては、入りたいが24%、入りたくないが32%、分からないが44%となっており、これはなかなか判断しづらいところです。 入りたい理由は、「やりたい種目が選択できること」などです。 やりたい種目ベスト3が、「卓球、バスケット、ソフトボール」です。文化部では「吹奏楽」が人気です。 あわせて、やりたくない理由も聞いてみましたが、「休日は休みたい」という理由が断トツでした。 そうなると、「受け皿を作っても、生徒が入ってこない」という心配もありますが、それでもしっかりと取り組んでいきたいと考えています。 次に推進体制ですが、おっしゃる通りこの部活動改革は重たく、担当課としても不安で一杯です。しかしながら、大洲市では大きな事業に取り組

二宮市長	む際には、プロジェクトチームや対策室など、専属の部署が立ち上がったこともありますので、専任の職員を配置していただき、取り組んでいけるとすれば、子供たちにとって、非常に良いものができると思っています。 子供たちが、やりたいことがあるのに、何か制約があって取り組めないというのは残念ですので、部活動改革についても、できれば前向きに進めていきたいと思っています。 やはり一番は指導者と指導内容であり、より良い指導を受けたいというのが、子供たちの気持ちだと考えています。 まずは週末から取組めれば良いと考えますので、よろしくお願いします。
二宮市長	次に、「(3) 社会体育施設・設備の充実」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
渡邊委員	新カヌー艇庫の整備を進める中で、カヌーを生かしたまちづくりにより、交流人口の増加に繋げる、また、観光面においても、国内・国外からの人の流れを呼び寄せることで、経済波及効果が生まれるのではないかと話がありました。 松山市の方から、「大洲市は最近生き生きしてるね。」とか「魅力的なまちになってきたね。」と言われます。 担当課として、カヌー艇庫の整備について、どのようなイメージを持たれているのか、どのようなアイデアがあるのか、理想の形をどのようにとらえているのか、教えてください。
脇坂課長	市長からも、「人づくり、まちづくりで、スポーツを活かせないか」ということを言われております。 今、考えているのは、例えば「肱南カヌー艇庫」では、当然、カヌーの貸し出し業務が発生します。これまでは、人を雇用して賃金を払うというスタイルでしたが、これからは、ビジネスとして扱っていただける事業者に入っていただきたいと思います。大洲市は事業者から家賃をいただきますが、事業者は施設のホールやビューテラスを活用し、何か面白い事業を展開する中で、利益を出してもらうことを考えています。 例えば、「大洲カヌーTシャツなどの物品販売」、「インストラクターやガイド」、「大洲高校カヌー部とのコラボ」なども考えられます。 また、古民家ホテルやキャッスルステイでお泊まりのお客様も、カヌーに呼び込めないかと考えています。カヌーという特別な体験は、国内外の富裕層の方には、きっと受け入れられると確信をしております。 「柚木カヌー艇庫」では、国土交通省の護岸整備にあわせてキャンプサイトの整備をお願いできないかなと・・・カヌーとキャンプは相性が良いので、面白いかなと思っています。 事業者は、飲食業、アウトドア用品の販売業、ベンチャー企業など、な

二宮市長	んでも良いんです。我々にパスをいただければ、カヌーを通して、大洲市の新しい景色を作っていけると感じています。 大洲高校のカヌー艇も一部収納する必要があると考えますので、県の教育長にも支援のお話もしています。いろいろな財源も検討しながら、前向きに検討していきたいと考えています。 カヌー協会では、夏休みには親子カヌー教室なども開催しており、参加された方は、コロナ禍で出かける場所が限られる中でも楽しむことができた、喜んでおられました。 もう一つの、体育館施設LED照明設備導入事業については、水銀灯は交換したくても物がないので、仕方ないところです。 この点については、令和4年度から、環境生活課を設け、環境対策にも取り組んでおります。経済産業省に補助事業がありますので、今の時点では分かりませんが、活用できるものが無いか、検討しているところです。 人口減少が進む中で、全ての施設を使いこなすことは難しくなりますので、現状を把握し、優先順位を付けて取り組んでいく必要があると考えています。
二宮市長	それでは次に進めます。学校給食センターから、説明がありました、「(1) 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。 <意見無し>
二宮市長	それでは次に進めます。子育て支援課から説明がありました、「(1) 認定こども園の整備」と「(2) 改築時期・統廃合等の検討」について、何か、ご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	認定こども園の先生の確保は十分にできているのでしょうか。
仲岡課長	現在、入所申込のある子供の数に対して、必要となる先生の数を配置出来ています。
二宮市長	施設の整備については、少子化が進んでいるため、過大な投資とならない対応をお願いします。 <5分間休憩>
二宮市長	それでは、議題の2に進めます。その他ということで、何か、ご意見、ご質問はございませんか。

二宮市長	それでは、私の方からですが、愛媛県で県立高校振興計画（案）が公表され、いろいろな議論が起きています。少子化が著しい速度で進んでいる中で、大洲市の子供たちが、これからどのような形で高校教育を受けることが望ましいのか、できれば義務教育まで関わっていただいている委員の皆さんにも、計画をもう一度確認いただいて、それぞれの立場で、自分のお考えを持っていただきたいと思います。 <愛媛県ホームページの動画を視聴>
二宮市長	現状を言いますと、大洲市内の成績優秀な生徒が、松山の高校へ通うということが始まっています。 また、八幡浜の方にも、スポーツなどの関係で、かなりの生徒が通学しています。 帝京第五高校も、看護科を除くと、１６０名程度となっていますし、その中でも大洲市内の生徒は少数となっています。 このような状況を踏まえ、それぞれの立場で、お考えいただきますようお願いします。 もう１点、人口減少が進む中で、一人当たりの消費額が１２２万円と言われておりまして、市町村合併以降、大洲市の人口が約１万人減少していることから、かなりの額で消費経済が縮まる状況にあります。 そういった中で、どうやって地域を持続させて行くかと考える場合には、やはり交流人口を増やしたいとの観点から、亡くなられた前清水市長の時代から、観光まちづくりを進めてまいりました。 そのような中、交流人口の増加に向けては、観光だけでなく、スポーツや文化による交流も進めていきたいと考えています。 スポーツの点において、地域にある資源を考えると、１つは青少年交流の家がありますので、これは活用していく戦術、戦略が必要と考えています。 肱川では、カヌーやサップが少しずつ広がりを見せています。 鹿野川のダム湖があり、もうしばらくすれば、おそらく水質は日本でも１位、２位となると思っている山鳥坂ダムが完成しますので、ダム湖とあわせて、森林や林道を活用することも考えられます。 堤防の整備も進んでいますので、堤防や河川敷、川の流れをどのように活用していくか、市民の生活もそうですし、スポーツやレクリエーションにも利用できると思います。 いろいろな可能性があると思いますので、市役所内でも、部を跨いで検討していただきたいと思います。 他に無いようでしたら、進行を事務局へ返します。
	4 教育長あいさつ
	5 閉会

